

令和 6 年 定額減税

各種設定の確認	1
月次減税	3
定額減税データ出力	4
源泉徴収票.....	4

1 各種設定の確認

定額減税処理をする前に、各種設定を確認します。

支給控除項目マスタの確認

初期設定メニュー ⇒ 支給控除項目マスタ

給与 および 賞与明細書や帳票に印字する定額減税対象項目の項目名の変更を行います。

初期値は給与、賞与共に「定額減税」となっています。項目名の変更をしない場合、本作業は不要です。

1. プルダウンメニューより支給区分「給与 または 賞与」、項目区分「控除」を選択します。
2. (個別入力の場合)区分コード 04: 所得税 横の「+」ボタンをクリックし、項目コードを展開します。
3. (個別入力の場合)項目コード 02: 定額減税を選択し、[項目名称][項目表示名]を変更します。

個人情報マスタ > 家族情報の確認

初期設定メニュー ⇒ 個人情報マスタ ⇒ 家族情報タブ

定額減税の対象となる配偶者と扶養親族が登録されているかを確認します。

※定額減税の対象となる親族等の数は毎月の給与や賞与における扶養親族等の数とは異なる場合があります。

※同一年計配偶者や16歳未満の扶養親族も定額減税の対象となる可能性があります。必ず登録内容をご確認ください。



給与計算システムで定額減税の判定対象となる家族

【配偶者】

条件: 職員本人が定額減税対象者であり、配偶者の合計所得が48万円以下、かつ配偶者が居住者である。

1. 本人該当欄の配偶者合計所得が「～48万円」

<input checked="" type="checkbox"/>	控除対象配偶者有
	R2年以降 <input type="text"/> 控除対象配偶者
本人合計所得	950万円～1,000万円 <input type="text"/>
配偶者合計所得	～48万円 <input type="text"/>

2. 配偶者情報の「非居住者」のチェックボックスがOFFである

配偶者	氏名*	メシウス 花子	<input type="checkbox"/>	非居住者
	カナ	メシウス ハナコ	障がい者	<input type="text"/>
	生年月日*	1990-05-01 33才	同居	<input type="text"/>
		区分	一般	

【扶養親族】

条件：職員本人が定額減税対象者であり、扶養親族が居住者かつ、他の所得者の控除扶養親族ではない。

1. 家族該当欄の「非居住者」のチェックボックスが OFF である
2. 家族該当欄の「他の所得者の控除扶養親族」のチェックボックスが OFF である

氏名 続柄* 設定 非居住者

カナ 障がい者

生年月日* 23 才 区分 一般 他の所得者の控除扶養親族

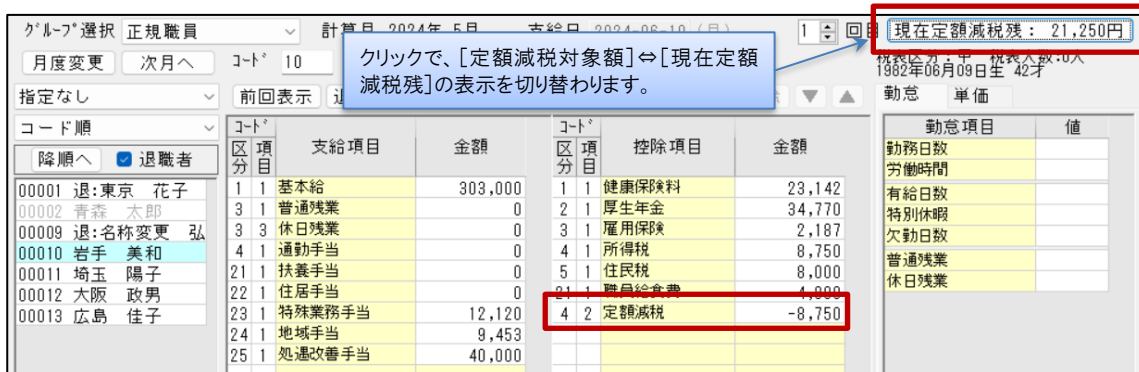
氏名	続柄	生年月日	区分	同居	障がい者	非居住者
メシウス 一郎	子	2000-05-04	一般			

追加
訂正
削除

2 月次減税

メインメニュー ⇒ 給与計算
 メインメニュー ⇒ 賞与計算

支給日が令和6年6月1日～令和6年12月31日の場合、給与入力(個人別)／賞与入力(個人別)画面へ定額減税関係項目が表示されます。



▼ 定額減税対象者の条件

令和6年6月1日時点で下記2点を満たしている人を対象者と判断しています。

1. 在籍者
2. 所得税額表の区分が「甲欄」の人

▼ 項目の説明

項目	説明
現在定額減税残	画面に表示されている定額減税金額を含めた、現時点の定額減税の残額を表示します。 ボタンを押下すると[定額減税対象額]との切替を行います。 対象支給日、対象者のみ表示されます。
定額減税対象額	選択された職員の定額減税対象額を表示します。 ボタンを押下すると[現在定額減税残]との切替を行います。
定額減税	所得税の金額と定額減税残額から自動計算されます。 対象支給日、対象者のみ表示されます。 ※手入力で修正を行った場合、正しく定額減税額が計算されない場合があります。



「定額減税残額」と「支給日」のタイミングについて

現在定額減税残額は登録日時点で給与計算システムに登録されている定額減税額から算出されます。
 具体的な控除例は下記の通りです。

登録日付	支給日	所得税	定額減税額	現在定額減税残額表示
6月1日				60,000円
6月7日	6月10日支給給与	3,000円	-3,000円	57,000円
6月30日	7月20日支給賞与	56,000円	-56,000円	1,000円
7月7日	7月10日支給給与	3,100円	-1,000円	0円

3 定額減税データ出力

メインメニュー ⇒ 各種帳票印刷 ⇒ 集計タブ

定額減税に関するデータを EXCEL 形式で出力します。

令和6年6月1日以降に在籍している全従業員を出力します。

対象者	施設	グループ	コード	氏名	該当人数	定額減税対象額	定額減税控除済	定額減税残額
○	サーブ保育園	正規職員	00001	東京 花子	2	60,000	60,000	0
○	サーブ保育園	正規職員	00002	青森 太郎	3	90,000	3,400	86,600
○	サーブ保育園	正規職員	00009	名称変更 弘子	4	120,000	78,940	40,060
○	サーブ保育園	正規職員	00010	岩手 美和	1	30,000	30,000	0
○	サーブ保育園	正規職員	00011	埼玉 陽子	2	60,000	60,000	0
○	サーブ保育園	正規職員	00012	大阪 政男	3	90,000	76,010	13,990
○	サーブ保育園	正規職員	00013	広島 佳子	1	30,000	30,000	0
○	サーブ保育園	臨時職員	00014	徳島 明美	1	30,000	0	30,000
○	サーブ保育園	臨時職員	00015	福岡 みどり	1	30,000	0	30,000
○	サーブ保育園	臨時職員	00016	長野 達	1	30,000	0	30,000
○	サーブ保育園	臨時職員	00017	兵庫 藤子	1	30,000	0	30,000
○	サーブ保育園	臨時職員	00018	福島 恵	1	30,000	0	30,000
×	サーブ保育園	臨時職員	00020	時給 次郎	0	0	0	0

▼ 項目の説明

項目	説明
対象者	定額減税の対象者の場合は「○」非対象者の場合は「×」を出力します。
該当人数	配偶者、扶養親族を含めた、定額減税の対象となる人数を出力します。
定額減税対象額	定額減税の対象額を出力します。(該当人数×30,000円)
定額減税控除済額	給与、賞与で定額減税された金額を合算して出力します。
定額減税残額	定額減税残額を出力します。(定額減税対象額-定額減税控除済額)

4 源泉徴収票

令和6年(2024年)分出力時に摘要欄へ定額減税の情報を付記して出力を行います。

ただし、確定申告の時は定額減税の情報は付記しません。

源泉徴収票摘要欄の確認

メインメニュー ⇒ 各種帳票印刷 ⇒ 源泉徴収票

定額減税のしかたの記載要綱に従い、下図の様に出力されます。

ケース1) 定額減税対象者 かつ 同一生計配偶者 かつ 障がい・特別障がい者の場合

(摘要) 源泉徴収時所得税減税控除済額3,400円、控除外額86,600円 減税有 (1) 青森 桜子(同配)
--

ケース2) 定額減税対象者 かつ 同一生計配偶者

(摘要) 源泉徴収時所得税減税控除済額60,000円、控除外額0円 非控除対象配偶者減税有

ケース3) ケース1、ケース2以外の定額減税対象者で、定額減税が引ききれなかった場合

(摘要) 源泉徴収時所得税減税控除済額76,010円、控除外額13,990円

ケース4) ケース1、ケース2以外の定額減税対象者で、対象の定額減税額がすべて減税済の場合

(摘要) 源泉徴収時所得税減税控除済額30,000円、控除外額0円



年末調整に関する定額減税の対応について

年末調整に関する定額減税対応については、詳細が公表されている一部のみの対応となっております。

令和6年度年末調整時期に改めてリリースいたします。